



会 議：国際標準化機構（ISO）／セキュリティ及びレジリエンス技術専門委員会（TC 292）／
保護セキュリティ作業委員会（WG 6）

開催場所：フランス内務省（Ministère de l'intérieur）：フランス、パリ市

会議期間：2016年4月14日及び15日

参加者：約10箇国約20名

海技研からの出席者：

太田 進： 特別研究主幹（国際連携センター長）

概要：

- 国際標準化機構（ISO）／セキュリティ及びレジリエンス技術専門委員会（TC 292）のうち、サプライチェーンセキュリティ（ISO 28000 シリーズ）を扱う保護セキュリティ作業委員会（WG 6）のパリ会合に出席した。
- この会合では、ISO 28000 シリーズの今後の審議の進め方等について審議された。

主な貢献

太田は、日本船舶技術研究協会海事セキュリティ分科会の委員長を務めており、これまでもISO 28000 シリーズの策定・改訂に係る ISO 会議にも多数出席してきた。今次会合においては、海事分野の専門家として、ISO 28000 シリーズについて説明するなど、審議に貢献した。



会議の様子

主な審議結果

主な審議結果は以下の通りである。

1 WG のロードマップ

WG は 2015 年 12 月に開催された第 1 回会合（パリ会合）で作成した案に基づき、WG のロードマップについて審議した。今次会合では、WG の目的、扱う範囲及び他のグループとの作業分担、言葉の意味等について議論し、ロードマップには、新規作業計画とすべき具体的な規格案は含めなかった。ロードマップには、以下の項目が含まれる。

- セキュリティマネジメントシステム（ISO 28000 シリーズを含む）
- 事象（incident）マネジメント



- Physical protective security (CPTED (Crime Prevention Through Environmental Design : 環境設計による犯罪予防) 等)
- 個人保護セキュリティ
- 情報保護セキュリティ

2 ビデオによる監視システム

WG はビデオによる監視システムに係る規格作成のためのプロジェクトチームを設置しており、このチームの活動報告があった。今後は ISO 22311:2012 “Societal security -- Video-surveillance -- Export interoperability (社会セキュリティービデオサーベイランスーデータのエクスポートの相互運用)” の改正が審議される可能性がある。

3 セキュリティマネジメントシステム (SMS)

今次会合において WG は、具体的な SMS 規格の策定については合意せず、幾つかの SMS 規格について、その要否を含め、引き続き検討していくことに合意した。また、ISO 28000 シリーズについては、通常の見直しの手続きに則って改正の要否を判断することに合意した。その際、ISO 28000 シリーズ及び ISO 18788:2015 「プライベートセキュリティ業務のマネジメントシステムー要求事項及び使用の手引」は、今後新たにマネジメント規格を作成する際に従うべき指針とされている「ISO/IEC 専門業務用指針補足指針附属書 SL」(通称: Annex SL) に沿って書かれていないことが指摘された。

4 次回会合

WG は、次回会合を TC 292 のプレナリー会議と並行して 2016 年 9 月 5 日の週に開催することに基本的に合意した。